

研究指導計画

デザイン工学研究科

【修士課程】

<研究指導体制>

- ・担当教員の指導下で研究活動を行うと共に、所定の単位とコースワークを履修し修士論文・修士設計に取り組むために必要な知識・技術を修得する。
- ・修士論文・修士設計の審査においては、担当教員である主査に加え、選定された1名以上の副査から審査を受ける。

<スケジュール、指導内容>

- ・担当教員の指導下で研究を行いながら、所定の単位を修得する。
- ・最終年度1～2月に修士論文・修士設計を提出し、審査会にて最終試験として口頭諮問を受ける。
- ・最終年度2月の教授会において、学位授与の可否が議決される。
- ・最終年度3月に学位の授与を受ける。

【博士課程】

<研究指導体制>

- ・担当教員の指導下で研究活動を行うと共に、所定の講義科目とプロジェクト科目の履修を通して博士論文に取り組むために必要な知識・技術を修得する。
- ・博士論文の審査においては、論文審査委員会および論文審査小委員会の審査を受ける。

<スケジュール、指導内容>

- ・担当教員の指導下で研究を行いながら、所定の単位を修得する。
- ・最終年度の指定された期限までに学位を申請する。
- ・専任教員で構成される審査委員会が申請を受理した場合は、論文の審査ならびに、試験および学識の確認を行うための審査小委員会が設置される。
- ・審査小委員会の審査会で論文の審査ならびに口頭試問を受ける
- ・最終年度2月の審査委員会において、小委員会主査の諮問に基づき学位授与の可否が議決される。
- ・最終年度3月に学位の授与を受ける。